


安全データシート

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	Trypan Blue 0.4% Solution
コンポーネント名	
商品コード	POL社 商品コード:25561
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	OTH0154V02 (2024/4/1)
2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)	
化学品のGHS分類	
健康有害性	発がん性 区分2 生殖毒性 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
GHSラベル要素 絵表示	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H351 発がんのおそれの疑い H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
注意書き	
安全対策	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。 (P308+P313)
保管	施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物や容器を、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
他の危険有害性 重要な徴候及び想定される非常 事態の概要	
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ダイレクトブルー14<トリパンプルー>
CAS番号	72-57-1
濃度又は濃度範囲	0.4%
化学式	C34H24N6Na4O14S4
化審法官報公示番号	(5)-1285
安衛法官報公示番号	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし
以下、該当する単一成分のSDSを記載する。	
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合	眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 データなし
応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。 データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	小火災：水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤。 大火災：噴霧水、耐アルコール性泡消火剤。
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	棒状注水。 火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法 消火を行う者の保護	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風上に留まり低地から離れる。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び 機材	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。掃き集めて回収する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じんが発生する場合は、排気用の換気を行うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。
接触回避 衛生対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。 取扱い後はよく眼と手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	保管場所には危険物を貯蔵し、取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 強酸化剤から離して保管する。 冷所、換気の良い場所で密閉して保管すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度(産衛学会)	未設定
許容濃度(ACGIH)	未設定
設備対策	粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具	適切な保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具、保護衣を着用すること。必要に応じて個人用の自給式呼吸器付化学保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	褐色
臭い	データなし
融点／凝固点	> 300°C(融点)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶、アルコールに不溶。
n-オクタノール／水分配係数(log値)	log Pow = -0.12(推定値)
蒸気圧	1.49×10^{-42} Pa(25°C)(推定値)
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	強酸化剤と反応する。
化学的安定性	通常取扱条件においては安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	加熱、混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
使用、保管、加熱の結果生じる危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物などを発生する。
その他	

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットのLD50 = 6200mg/kg(HSDB(2006)、RTECS(2006))に基づき、区分外とした。
経皮	データなし
吸入(粉じん、ミスト)	HSDB(2006)にラットへの0.4735mg/L濃度での1時間ばく露(4時間換算値0.1184mg/L)により死亡が認められなかったとの記述があるが、他にデータがなく、区分が特定できないことから、データ不足のため分類できないとした。
皮膚腐食性／刺激性	HSDB(2006)にウサギの試験において反復適用でも皮膚刺激性症状が認められなかったとの記述があるが、Priority1において明確に有害性を否定する記述がないことから、区分外とするにはデータ不足のため分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	HSDB(2006)及びSITTIG 4th(2002)にヒトの眼に適用しても刺激性が認められなかったとの記述があるが、Priority1において明確に有害性を否定する記述がないことから、区分外とするにはデータ不足のため分類できないとした。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	RTECS(2006)にラットのIn vivo染色体異常試験で陽性の結果があり、使用組織が骨髄細胞ならば区分2、精原細胞ならば区分1Bに分類されるが、使用組織が不明なため特定できず、分類できないとした。

発がん性	IARCでグループ2B (IARC Suppl.7 (1987))、日本産業衛生学会で2B (産衛学会勧告,2005)に分類されていることから、区分2とした。
生殖毒性	親動物の一般毒性に関する記述はないが、IARC8 (1975)の投与経路は不明であるがマウス、ラット、モルモットにおいて催奇形性を示すとの記述、RTECS (2006)のラットの妊娠中経口投与試験において生殖能への影響や発生異常が認められたとの記述から、区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため分類できない。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に危険が及ばないように十分注意すること。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
Marine Pollutant	Not Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II, and the IBC code.	Not Applicable
航空規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
国内規制	
陸上規制情報	該当しない。
海上規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	

等級
 特別の安全対策
 緊急時応急措置指針番号 なし

15. 適用法令	
労働安全衛生法	<p>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)【第364号 テトラナトリウム=3, 3'-[(3, 3'-ジメチル-4, 4'-ビフェニレン)ビス(アゾ)]ビス[5-アミノ-4-ヒドロキシ-2, 7-ナフトレンジスルホナート](別名トリパンブルー)】 ダイレクトブルー14<トリパンブルー> 含有する製剤その他の物。ただし、含有量が0.1重量%未満のものを除く。(施行令第18条の2第2号、安衛則第34条の2別表第2)</p> <p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)【第364号 テトラナトリウム=3, 3'-[(3, 3'-ジメチル-4, 4'-ビフェニレン)ビス(アゾ)]ビス[5-アミノ-4-ヒドロキシ-2, 7-ナフトレンジスルホナート](別名トリパンブルー)】 ダイレクトブルー14<トリパンブルー> 含有する製剤その他の物。ただし、含有量が1重量%未満のものを除く。また、運搬中及び貯蔵中において固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物(次の各号のいずれかに該当するものを除く。)を除く。 1号 令別表第1に掲げる危険物 2号 危険物以外の可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物 3号 酸化カルシウム、水酸化ナトリウム等を含有する製剤その他の物であつて皮膚に対して腐食の危険を生ずるもの(施行令第18条第2号、安衛則第30条別表第2)</p>
16. その他の情報	
参考文献	経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース ezCRIC+ 安全衛生情報センター GHS対応モデルSDS 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。 ◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。 ◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。 ◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。